

# 社会福祉施設 5類移行後 新型コロナウイルス感染症対応 チェックリストⅠ

感染対策は**平時からの取組みが重要**です。5類感染症になっても一定の流行が繰り返されることが想定されますので、以下のチェックリストの項目ができているか点検しましょう。

項目		ポイント
<b>感染予防対策</b>		
1	<input type="checkbox"/> 咳エチケットの励行および、施設内の職員は不織布マスクを着用している	<ul style="list-style-type: none"> <li>●不織布マスクは、顔に密着させるなど適切に着用しましょう。</li> <li>●集合する場合、利用者にも施設からお願いして、極力マスクをつけてもらいましょう。</li> <li>●速乾性手指アルコール消毒剤の配置、または携帯を行い、すぐに手指消毒ができる環境作りをしましょう。</li> <li>●HEPA搭載空気清浄機は空気取入口を「人が居る側」に向けて置き、フィルタはこまめに掃除しましょう。</li> <li>●エアコンには換気の機能はついていないので注意しましょう。</li> <li>●排泄物や分泌物などが衣服に付着する可能性がある場合はエプロンや手袋を着用し、終了後は廃棄し、共有はしません。</li> </ul>
2	<input type="checkbox"/> 利用者に触れる前後には手指消毒を行うよう、職員へ周知している	
3	<input type="checkbox"/> 居室の前等に手指用アルコール消毒剤を配置、または携帯型手指消毒剤を職員に所持させて、使用状況を確認している	
4	<input type="checkbox"/> 休憩時の間食など、大袋菓子等の共有には手指消毒を行い、食品の扱い等に注意するよう職員へ周知している	
5	<input type="checkbox"/> 換気は常時、自然換気（窓2か所開放など）や機械換気（ファンにより空気の給排気する方式）を行っている *換気しにくい（窓開放不可など）場所では、サーキュレーターやHEPAフィルター搭載の空気清浄機を配置するなど工夫している	
6	<input type="checkbox"/> 吸引や食事介助、口腔ケアなど、飛沫を受けやすい場面では、マスクに加え目の保護（フェイスシールドなど）をしている	
7	<input type="checkbox"/> おむつ交換時の手袋・エプロンは個々に、その都度交換・手指消毒している	
8	<input type="checkbox"/> 職員や利用者が集まる際は距離を開け、対面を避けるなどの座席配置の工夫をしている	
9	<input type="checkbox"/> 休憩室・更衣室・食事場面等、マスクを外している時はなるべく会話を控え、密にならないよう工夫をしている	
10	<input type="checkbox"/> 当直室、仮眠室は個人毎にシーツ交換、または個人で準備している	
<b>施設管理</b>		
11	<input type="checkbox"/> 手洗い場に、ハンドソープ、ペーパータオルを設置している	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アルコール濃度70%以上のクロス、次亜塩素酸ナトリウム濃度は0.02～0.05%にします。（平時の場合は次亜塩素酸水の利用可ですが、手の消毒には不向きです）</li> <li>●手の消毒（手指消毒剤は保護剤入り）と環境整備用の消毒は区別しましょう。</li> <li>●環境・身体への空間除菌（噴霧）はしないようにしましょう。</li> <li>●CO<sub>2</sub>濃度は1000ppm以下を保つようにしましょう。</li> </ul>
12	<input type="checkbox"/> 手指消毒剤と環境用消毒剤は別々に管理している	
13	<input type="checkbox"/> 手が頻回に触れる場所は1～2回/1日程度、環境用消毒剤（アルコールクロス、次亜塩素酸ナトリウム溶液や界面活性剤：住宅用・台所用洗剤）などで消毒する	
14	<input type="checkbox"/> 施設の換気口の清掃がされている 換気扇などの機械換気のスイッチは、常にオンになっていることを確認している	
15	<input type="checkbox"/> 空気の流れが滞る場所（人が集まる場所、窓の開放が難しい場所）のCO <sub>2</sub> 濃度を確認している	
<b>職員、利用者の健康管理：持ち込まない</b>		
16	<input type="checkbox"/> 職員は出勤前に体温測定と体調確認をしている *いつもと違うときは出勤しない 咳エチケットの励行や有症状時はマスクを外さない等、職員に周知している	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デイケアなど外部利用者の健康状況確認も行います。</li> <li>●症状のある職員は利用者とは接しないようにし、検査で陰性であっても症状経過を確認しましょう。</li> <li>●出勤しない日の健康状態の把握は陽性時、症状経過の確認に有効です。</li> <li>●症状の程度によっては、人との接触がない作業に従事する工夫を行います。</li> <li>●お互い様意識を高くし、症状あるときは休める雰囲気づくりに努めましょう。</li> </ul>
17	<input type="checkbox"/> 職員・利用者ともに発熱以外の些細な症状を観察している *呼吸器症状（咳、鼻水・鼻閉、咽頭痛）、声がれ、頭痛、全身倦怠感、関節痛、筋肉痛、下痢、吐気・嘔吐、味覚障害、嗅覚障害等	
18	<input type="checkbox"/> 職員・利用者ともに、毎日体調確認し、コロナ流行時は記録を残す等の管理をしている	
19	<input type="checkbox"/> 職員に対して、出勤しない日の体調管理を行なうよう指導している	
20	<input type="checkbox"/> 陽性者とマスクなしで、15分以上直接対応した職員の就業状況（ケア内容、場所）について、検討している	
21	<input type="checkbox"/> 利用者が、利用中に症状が出現した際の対応をかかりつけ医（嘱託医）へ事前に確認している	
<b>発生時に備えた対応</b>		
22	<input type="checkbox"/> 陽性者の接触者をリストアップできるように、利用者の名簿や健康観察の記録がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>●初動が今後の発生に影響します。迅速な準備や隔離がカギとなるので連絡体制やソーニング法を共有しておきます。</li> <li>●PPE：長袖ガウンもしくはエプロン、手袋、サージカルマスク、N95マスク、フェイスシールド、キャップが適切に脱衣できるような掲示などとするよいでしょう。</li> <li>●陽性者のケア後は必ずPPEを脱ぎ、新たに防護具を着用しましょう。</li> <li>●発生の報告体制や対応のマニュアルを作成していることが望ましいです。</li> </ul>
23	<input type="checkbox"/> 陽性者（状況に応じて濃厚接触者）を隔離するために、事前に個室の確保や配置を決めている	
24	<input type="checkbox"/> 職員の役割分担を決めている （陽性者への対応職員の固定、資材の管理・確保要員、該当者リストアップ 等）	
25	<input type="checkbox"/> 個人防護具（PPE）・消毒物品の準備*ができています *（例）療養者1人あたりのケアに対する必要更衣回数/日×療養期間+α（約10日間）（×療養者数）で予測	
26	<input type="checkbox"/> 職員の個人防護具（PPE）着用が適切にできるよう指導・訓練をしている	
27	<input type="checkbox"/> 感染性廃棄物の廃棄方法を周知している（多量の廃棄物が出る可能性に備える）	
28	<input type="checkbox"/> 速やかに発生報告ができるよう、施設を所管する県、市の担当部署がわかっている	
29	<input type="checkbox"/> 嘱託医・協力医に発生時の対応（治療薬や処置、施設の感染対策等）について相談できる体制をとっている ※特に看護職がない施設は相談体制を明記しておく	

